



# ハートフルなんぶ

2022. 12月号 vol. 290



長野市立南部図書館

〒388-8006

長野市篠ノ井御幣川 1201 番地

TEL (026) 292-0143

FAX (026) 292-0559

<https://library.nagano-ngn.ed.jp/>

## 年末年始の休館のお知らせ

令和4年12月27日(火)～令和5年1月3日(火)まで休館となります。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

本の返却は返却ポストをご利用下さい。

※ CD・DVD 付きの資料、大型絵本、長野図書館の AV 資料は返却ポストでは  
ご返却いただけませんのでご注意ください。

## Essay

### 「家事労働について思うこと」

寄稿：夕焼けざくろ

「家事」と聞くと女性がするものと思ひ浮かぶ人が多いと思う。社会学者でフェミニズム研究の第一人者、上野千鶴子さん風になると「不払い労働」(家事)と呼ぶらしい。家父長制の流れを継ぐ私の親は、不払い労働(家事)は女性がやるもので、男性は外で働くもの、という意識が強く、兄も姉も私もそのように育ってきた。

旦那様とお付き合いをし、同棲を経て結婚した。お互いフルタイムで仕事をし、子供が生まれた。育休明けは毎日ものすごいスピードで自分の前を、自分が通り抜けていっている感覚だった。朝は夕飯の食器洗い、夜は朝の食器あらいから、家事が溜まるようになり。自分のモヤモヤも溜まっていった。

いつも子どもを寝かしつけては、私も寝てしまい、さらに朝が弱い私は何日も洗濯をためた。ある日、溜まった洗濯物を前にひと悶着あり、その日から旦那様が洗濯物を担当するようになった。10年たち、いまやただのお手伝いではなく、責任ある洗濯係へと成長した。あの日の諍いは無駄ではなかった。

ジェンダーフリーという言葉がある。ジェンダーフリー的な思想は歴史が長く、資本主義のマルクスとエンゲルスの時代より前からあったようだ。実際に使われたのはアメリカの教育学者バーバラ・ヒューストンが用いたとされている。しかし、ヒューストンはこの言葉を「ジェンダーの存在を意識しない」という意味で使用しており、和製英語として日本で使われる意味とはまた違うようだ。広義として使われる言葉ではあるが、家事に焦点を当ててみると、それはただの労働で、女性だけが担当しなければいけない仕事ではないように感じる。家事は、その多くが性の存在を必要としない労働なのではないかと。

だから私は、家族皆で家事をシェアするために、あれやこれやと試行錯誤を繰り返している。女性だけが家事担当なんてやっぱりおかしい、ずっとそう思い続けているからだ。こどもが当番のお手伝いをやらずに「キー!」となっている私に旦那様が、もういい加減諦めたら?なんて言う。いやいや諦めない。戦わずして変わらない!

## 今月の 新刊案内

- 『乱鴉の空』あさの あつこ／著 光文社 ≪Fア≫  
 『ハヤブサ消防団』池井戸 潤／著 集英社 ≪Fイ≫  
 『宮繕かるかや怪異譚 その3』小野 不由美／著 KADOKAWA ≪Fオ3≫  
 『首取物語』西條 奈加／著 徳間書店 ≪Fサ≫  
 『競争の番人 [2]』新川 帆立／著 講談社 ≪Fシ2≫  
 『祈りのカルテ [2]』知念 実希人／著 KADOKAWA ≪Fチ2≫  
 『クリ粥』山本 一カ／著 祥伝社 ≪Fヤ≫  
 『レンズが撮らえた幕末日本の事件史』日本カメラ博物館／監修 山川出版社 ≪210.5レ≫  
 『90歳になっても、楽しく生きる』樋口 恵子／著 大和書房 ≪367ヒ≫  
 『なぜ、その地形は生まれたのか?』松本 穂高／著 日本実業出版社 ≪454マ≫  
 『大人が装うワンポイント刺繍帖 アトリエ Fil／著 東京:エクスナレッジ ≪594オ≫  
 『台所道具』日本の手仕事・暮らしの道具店 cotogoto／著 翔泳社 ≪596タ≫  
 『74歳、横山タカ子の体にいいごはん 横山 タカ子／著 東京:家の光協会 ≪596ヨ≫  
 『けなげな野菜図鑑』稲垣 栄洋／監修 エクスナレッジ ≪626ケ≫  
 『tupera tuperaの手づくりおもちゃ』tupera tupera／著 河出書房新社 ≪750ツ≫  
 『中村吉右衛門舞台に生きる』中村 吉右衛門／著 小学館 ≪774ナ≫  
 『信州のおばあちゃんたちに聞いた 100年後にも残したいふるさとレシピ100』  
 大和書房編集部／編 大和書房 ≪N590シ≫



## 12月のテーマ 「家事」

- 『働くパパの時間術』栗田 正行／著 日本実業出版社 ≪159ク≫  
 『それって、必要?』筆子／著 KADOKAWA ≪159フ≫  
 『図説英国メイドの日常』村上 リコ／著 河出書房新社 ≪233ム≫  
 『吉沢久子97歳のおいしい台所史』吉沢 久子／著 集英社 ≪289.1ヨ≫  
 『結婚5年目の心理学』マルコ社／編集 マルコ社 ≪367ケ≫  
 『「家事のしすぎ」が日本を滅ぼす』佐光 紀子／著 光文社 ≪367サ≫  
 『遊び・会話・家事で今こそ「家族のコミュニケーション力」アップ』司馬 理英子／著 主婦の友社 ≪367シ≫  
 『子どもをキッチンに入れよう!』藤野 恵美／著 ポプラ社 ≪379フ≫  
 『伝説の家政婦志麻さんがうちに来た!』タサン志麻／著 世界文化社 ≪596タ≫  
 『50過ぎたら、住まいは安全、そうじは要領』沖 幸子／著 祥伝社 ≪597オ≫  
 『ズボラさんでも暮らしが整う楽ラク家事』高橋 ゆき／著 主婦の友社 ≪597タ≫  
 『ラクラクお掃除新津式汚れ落とし術』新津 春子／著 産業編集センター ≪597ニ≫  
 『家事でモメない部屋づくり』三木 智有／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン ≪597ミ≫  
 『一生ついてまわる家事のキホンが身につく本』大人の常識研究会／編著 大和出版 ≪Y590イ≫  
 『正しい目玉焼きの作り方』森下 えみこ／イラスト 河出書房新社 ≪Y590タ≫  
 『中高生のための「かたづけ」の本』杉田 明子／著 岩波書店 ≪Y597ス≫



## 南部図書館 開館カレンダー

開館時間：午前10時～午後6時

■は休館日です

### 2022年12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

### 2023年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※2022年12月28日(水)は蔵書整理日のため、12月27日(火)～2022年1月3日(火)を休館とさせていただきます。